

<真剣味>58

2016. 9. 1

～夏休みの終わりに～①

あっという間に8月が過ぎていきました。大会、行事が沢山ありました。小学6年生に対するサマースクール、3年生最後の大会の絆甲子園、新チームで最初の大会の三条フレッシュマン大会、そして秋季大会とどんどん続いていました。大会があることは有難いのですが、やはりうまく結果に繋げられないことが大変申し訳なく思っています。1回戦で負けないチームを作りたいところです。

絆甲子園に参加して～3年生最後～

今年は8月6日（土）、7日（日）猛暑の中、福島県で行われました。今年被災された熊本県からも1チームが参加しておりました。

開会式では、元高校球児で怪物と称された有名な投手とバッテリーを組んでいた、現在は国會議員をなされている方からの言葉が心に残りました。「試合の中で普通にアウト一つ捕るために選手は365日をかけて地道に取り組む、それが野球！！」とても重い言葉を頂きました。これを受けて、更に取り組み方を考えなければいけない部分を感じました。そして今回の大会を通して、仲間をつくり・絆を深め・さらにスキルアップのできる大会にしたいと思いました。

【一日目】各会場に分かれて、3チームによるリーグ戦を行い、我がチームは2戦全敗でした。投手が軽い熱中症にかかるアクシデントはありましたが、両試合とも初回から失点する悪いパターンで試合に入ってしまいました。それを取り戻すことができず、敗戦につながりました。申し訳ない試合でした。 対須賀川 4対6、対気仙沼 3対7

『夕方からのイベント』

①ホームラン競争 K君とコーチ（第一位7本）…あの緊張の中、よく打ってくれました。コーチも1本入れてくれました。②墨間ボール回し…ミスなく1分間、33回みんなで繋ぎました。③ベースランニング N君とK君（第一位14秒8）…的確なコース取りで2人ともうまく走ることができました。下級生はランナーコーチとして場を盛り上げてくれていました。④遠投・絶叫大会 K君の母…練習の段階から適度に緊張し、努力しておりました。⑤早食い競争 S君…周りの状況を確認しながら、水をうまく飲みパンを素早く食していました。ハードな勝負っていました。昼間の試合とは違い、ある意味緊張がほぐれた状態ですが、競技に応援にみんな瞬間々集中して取り組んでいました。

【二日目】オールスターゲーム、各チーム3名、計18名の選手で構成され、ブルーオーシャンズ（我がチーム）とレッドファイターズの2チームに分かれて対戦しました。

ダッグアウトの中では、知り合ったばかりの選手とは思えないくらい声を掛け合い、いいプレーには褒める声も出ていました。選手がグラウンドで元気一杯というのは当たり前ですが、スタンドにいる選手が応援に一所懸命取り組んでくれていました。そのおかげもあって試合が盛り上がっていました。H君は朝一番宿舎でのスイングを生かしたヒット、120%の全力疾走で守備位置についていました。K君はBもなくとても落ち着いた態度でピッチングができていました。K君はキャッチングが良く、またスイングスピードが速かったです。ベンチからもナイススイングという声がとびました。みんな自分の立場で頑張っておりました。

◎3年生の皆さん、江南シニアでの野球本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

選手一人一人の良さを生かして、勝利することができず大変申し訳なく思っています。これからは次のステップで野球が出来るよう学習にも力を入れて、普段の生活を充実させてもらいたいと思います。

◎これからも、あの一瞬・あの1アウトを何気なく捕るため365日、野球に真剣かつ真面目に取り組みます。

～実のある秋にするため～②

○フレッシュマン大会

Aチーム 対長岡0—8負け、対柏崎1—10負け
対長岡東10—1勝ち、対新発田0—10負け
Bチーム 対柏崎0—6負け、対N G M 1—8負け
対合同チーム10—1勝ち

○秋季大会

対三条シニア1—3負け

△フレッシュマン大会でははじめて試合に出場する選手、あるいは慣れないポジションで出場する選手もいて思い通りの試合運営とならなかつた部分があると思います。それによって大変な試合になったと思います。

その1週間後の秋季大会では負けたことは悔しいですが、点数だけ見ると次につながりそうな点差と思われます。

○まず、フォアボール（B）が2個。我がチームの投手にすれば少ないと私は思います。更に火に油を注ぐようなBになることが多いが今回は違っていた。

○一番大きいことは、エラー（E）がないことです。そして全イニングの先頭打者をアウトにしている。本当に素晴らしいこと。また、今回はスタメン全員が相手のアウトに関わっている。

○このような試合を勝利に繋げるには、やはり「打撃」だと思います。投手の生きたボールのストライクゾーンの確認+タイミング+逆方向へのバッティング。どこまで前進できるかが白星獲得の要因と思われます。

∴9月25日（日）から始まる新人戦で結果を残すため。

- ・全員が強い気持ちで試合に臨む。
- ・みんなで声を掛けながら試合に臨む！
- ・Eを怖がらず、投手に合わせながらモーションし、守備での第一歩を大切にする。
- ・バッテリーが意味のある投球を心掛ける。（試合の8割を占めている）
- ・投手はアウトローのストライクが投げられるようする。変化球でストライクがとれる。
- ・3回あるチャンスの中で、1つずつしっかり生かし、よりビッグにする。（1つでも先の墨にランナーを送る。）
- ・試合だからいい形でいい打球を打とうと欲張らず、やってきたことしかできないので、よりシンプルに臨む。

∴どんなことがあろうとも、とにかく結果を残す。

～よど行きの野球はしない（今できることを精一杯に）～

小学6年生のサマースクール無事終了。

7月27日（水）から8月24日（水）までの5回に渡り、小学6年生対象の野球のサマースクールを実施し、今年は9名の児童が参加してくれました。軟式Cのボールを使い、秋以降の試合にプラスになればと思い指導させていただきました。特に「足が速くなりたい」という児童に対しては集合時のダッシュを意識するだけで足の回転が変わっていました。それをどこまで継続できるかが大切です。最後の感想では「バッティングが良くなつた」と自分で感じている児童もありました。引っ張りだけでなくセンター返しもできるようになった。1つでもプラスがあれば指導する方としては幸いです。選手達の秋の活躍を期待致します。

～夏バテ解消～夏の終わりにカラダに異変を感じた。その後すぐにカラダに痛み。ただの風邪、すぐに完治と思った。でも年齢からくる疲れが大きいためか、治らない。普段のケアと食事の見直しが必要を感じた。